

中学部の指導について

【中学生・レギュラーコース】

●定期テスト対策のために

新神奈川方式においても、内申点（学校成績）が重要であることは変わりません。そして、内申を決定する最重要資料が中間・期末テストです。我々は、長年に渡りこの対策に携わり、独自のノウハウを身につけてきました。

① 語りかけ

目的を達するために、何より大切なのは本人の意識です。優伸では、様々な方向から、生徒の心を揺さぶる「語り」を入れます。生徒が刺激を受け、明確な目標を持ち、前向きな気持ちで努力するには欠かせないものです。また、がんばる生徒達への励ましも忘れません。

② 授業・補習

テスト前の授業は、完全に定期テスト対策になります。通常授業に加え、土・日・授業後を使った補習で万全を期します。試験範囲の内容を何度も反復学習し、完全定着を計ります。難問や引っかかりやすい問題など差がつきやすい部分は特に力を入れ、得点力を極限までアップします。

③ 学校別対策

定期テストは、学校によって試験範囲・難易度・問題形式などが大きく異なります。優伸では、必要に応じた学校別の対策を実施し、効果的に高得点を狙います。

④ 対策テスト

科目によっては、定期テスト前に対策テストを実施します。これによって得点力・弱点などを明確にし、追試・補習・家庭学習指示などの最も効果的な手を打ちます。

⑤ 自習用「教科書準拠テキスト」

テスト前「勉強する気はあるけど、何をやればいいのかわからない」という声をよく聞きます。優伸では、通常テキストとは別に、テスト前の自習用教材があります。

⑥ 自習室開放

優伸の理念の1つである「自学自習」実現の1つとして、教室の空き時間には自習室を開放します。緊張感の中で、集中して学習に取り組めます。

● 真の学力養成のために

定期テストでの得点力と真の学力は、必ずしも一致しないことが少なくありません。なぜなら、定期テストは試験範囲の決められたテストであり、狭い範囲を一生懸命勉強すれば、誰でもそれなりの点数は取れるからです。定期テストばかりを目標に学習を進めていくと、必ずどこかで壁に当たります。入学試験などの実力問題にはまるで弱い、ということがおこります。さらに、上位校進学者は、高校入学後、急激に難化する授業・テストに対応できないことが多々あるのです。

優伸スクールでは、入学試験などの実力問題にも力を発揮できるよう、さらに高校入学後のことも視野に入れた指導を行います。

① 「考える力」を養成する優伸スタイルの授業

優伸の授業スタイルは決して詰め込み型ではなく、あらゆる場面で生徒に考えることを要求します。たとえ初めて見る問題でも、すべてを与えるのではなく、今までに身につけた知識を使ってまずは自分で考える。それによって、問題解決能力を鍛え、あらゆる応用問題に対処できる力を磨きます。

② 徹底的な問題演習

真の実力を培うために欠かせないのが「問題演習」です。スポーツなどと同様に、学力は理解をするだけでは身につかず、「練習」が必要になります。優伸では、授業・宿題を通じて厳選された問題を徹底的に演習します。また、それでも足りない生徒のために「無料添削制度」を設け、家庭学習の補助を行っております。

③ 通常授業・講習での難問を取り入れた授業

定期テスト前以外の授業や季節講習時には、クラスのレベルに応じて、教科書レベル以上の問題にもチャレンジすることもあります。生徒が興味を持ちやすい問題を励ましながら取り組ませますので、自信を失ったりする心配はありません。むしろ適度な難問はよい刺激になり、学習意欲をかきたてるものです。上位クラスでは、高校入学後に必要となる知識も、必要に応じて与えていきます。

④ 模擬テスト

中1・中2は年3回、中3は年4回（オプションで他にも何回か受けられます）の模擬テストを行い、学力をチェックします。今後の学習の指針として、大いにお役立てください。

【中学生・公立ハイレベル高校受験Vコース】 (中3生対象)

難関校受験など高い学力を身につける必要がある方々のためのコースです。かねてから神奈川県の入試は「公立高校入試のレベルが低い」と言われてきました。しかし、2013年度からの新制度入試では、**問題傾向や点数の変化でかなり難化が進み、差がつく入試になりました**。旧トップ校を中心に「特色検査」という大人でも頭を悩めるテストを課す学校もあります。Vコースは、これらのハイレベルな受験に対応するコースです。以下のような方針で臨んでいます。

① 目標校

- ・湘南・横浜翠嵐・柏陽・光陵・鎌倉・平塚江南・茅ヶ崎北陵などの旧公立トップ高校（旧独自入試実施校など）

② 理念

力のある生徒さん、向上心のある生徒さんの学力を極限まで伸ばすことを目標とします。教科書レベル、定期テストレベルの学習ではそうそう挫折を感じないような生徒さんが、それなりに苦労を経験する中で力を伸ばし、また精神力や克己心などの人間力も高められるよう指導します。優伸スクールの理念を最も強く反映できるコースだといえます。

ハードな経験の中でしか生まれない絆や連帯感も大切に、受験を通じて一生の宝を手に入れてもらいたいと考えています。

③ カリキュラム・内容

英語は、中3の1学期までに中学校の全文法を修了し、夏休み（夏期講習）からは過去問演習を中心に実践力を磨いていきます。公立高校入試必要な事項のみを学ぶのではなく、一部は高校内容も含めた高度な内容も習得します。高校入試で必要な力を「100」とすれば、ギリギリ100を身につけようとするより、力があるなら120の力をつけた方がいいのは説明するまでもないでしょう。

数学は、先に進むというよりは、各単元の内容を深く取り上げることになります。基礎を固めた上で、応用・発展問題の訓練に多く時間を費やすことになります。

また、公立トップ校の多くで実施される「特色検査」についても、万全の対策を行います。過去に出題された問題の演習はもちろんですが、模擬問題も多く用意し「教

科横断型」などの問題にも対応できる力を身につけます。

④ 模擬テスト

年間7回の神奈川県入試に準拠した模試を受験します。オプションで「特色検査対策模試」も受験可能です。

⑤ その他

学力のみならず、精神力などの人間的な強さを養うことで、今後の高校生活や大学受験、社会に出てからも通用する人間教育を目指します。また、受験には生徒と先生の「良好な人間関係」が大切だと考えます。優伸スクールが一番自信を持っているのはまさにこの部分です。励ましながら、時には叱り飛ばしながら、大切なときを創っていきたいと思います。